

第20回ASEAN+3外相会議
議長声明骨子

令和元年8月3日

ASEAN+3協力のレビューと将来の方向性

- ASEAN+3(APT)プロセスは、東アジア協力を拡大し、ASEANを原動力とする東アジア共同体の構築という長期目標に向けて進む上で引き続き重要であることを改めて表明。(パラ2)
- 幅広い分野におけるAPT協力の更なる強化に留意し、APT協力作業計画(2018-2022)の着実な進展を賞賛。今後4年間にわたるAPT協力の活動項目の更なる実施のため、具体的な成果を伴うより多くのプロジェクト及び活動を呼びかけた。(パラ3)
- 東アジア経済共同体を実現するという提言を含む、東アジア・ビジョン・グループ(EAVG II)の報告書を想起。EAVGの努力の下、プロジェクトや活動の実施の実質的な進展を期待。(パラ4)
- 人身取引、サイバー犯罪、テロ対策、暴力的過激主義及び違法薬物取引といったAPT協力作業計画2018-2022の下の国境を越える犯罪を含む非伝統的安全保障問題に対処するため、対話及び協力を更に強化する必要性を認識。また、海洋産業の能力開発を含め、海洋協力の強化に期待。(パラ5)
- ASEAN及び日中韓の間の貿易が拡大し続けていることに留意する中、貿易の緊張の高まりと成長への影響を警告。多角的貿易体制及びグローバル経済を危険にさらし続けている保護主義及び反グローバリゼーションの感情の高まりへの懸念を表明。世界貿易機関(WTO)に支えられる開放的、包括的、透明かつルールに基づく多角的貿易体制を支持するとの強いコミットメントを再確認。
WTOの現代化及び改革の作業に留意し、この努力を完全に支持。
地域経済統合の推進を支持することを再確認。東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の交渉の進展を歓迎し、現代的で、包括的な、質の高い、かつ互恵的な、合意を創出するためRCEP首脳から委任を受けた2019年内の交渉妥結への完全な支持を再確認。また、世界と地域の平和と安定、そして繁栄のため、多国間主義と地域主義の重要性を強調。(パラ6)
- ASEANスマートシティネットワーク(ASCN)の進展に対する支持を表明し、今後進展するネットワークと日中韓の都市の緊密なパートナーシップに期待。(パラ9)
- 過去20年間におけるASEAN+3金融プロセスの地域経済及び金融の安定性の向上における重要な進展を賞賛。(パラ10)
- 閣僚は、地域の食料安全保障を強化するためのメカニズムとしてのASEAN+3緊急米備蓄(APTERR)協定の重要な役割を強調。(パラ11)

●ASEAN連結性に関するマスタープラン(MPAC)2025の実施における進展に満足し、MPAC 2025の実施の進展に向けたAPT諸国の支持と地域の連結性の推進におけるAPTの協力強化を期待。閣僚は、MPAC 2025と地域における主要な連結性イニシアティブの間の連携及び相乗効果を発展させること、特に国際スタンダードに則った質の高いインフラの開発の重要性を強調。2019年11月のASEAN+3首脳会議において採択される「連結性イニシアティブの連結」に関するAPT首脳声明の作成に向けた取組を支持。(パラ13)

●日本が、アジア健康構想の下で、(協力の)対象を拡大したことに留意。2019年にASEAN Centre for Active Ageing and Innovationを設立するというタイのイニシアティブを歓迎。(パラ15)

●持続可能な開発を促進するための協力を進めるとのコミットメントを改めて表明。海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050年までにゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を評価。(パラ16)

●学生の流動性をより高める環境及び手段の更なる促進及び確立の必要性を再確認した。留学生の学術履歴の承認を促進し、APT諸国間の質を伴った学生交流を促進するものとして、APT留学生の学修履歴のための成績証明書及び補足資料に関するガイドラインが承認されたことを歓迎。(パラ18)

●ASEAN防災閣僚会議が、災害管理及び緊急対応の分野における協力を強化するため、ASEANとプラス3諸国との間で会合を開催することを確認したことに留意。(パラ23)

●東アジアとの協力を一層強化するための政府、経済、学界及びシンクタンクのためのトラック1.5レベルのプラットフォームとしての東アジア・フォーラム(EAF)の重要な貢献を認識。この関連で、閣僚は、2019年7月10日から12日に小田原において日本が主催した第17回EAFの開催を賞賛。(パラ24)

●APT協力に向けた東アジア・シンクタンク・ネットワーク(NEAT)の重要な貢献を認識し、2019年5月に東京で開催された第30回NEAT国別調整国会合(CCM)等の成果を歓迎。(パラ25)

地域・国際情勢

●非核化された朝鮮半島の恒久的な平和、安全及び安定を実現するため、国際社会の平和的取組によって支持された、全ての当事者による継続した平和的な対話の重要性を強調し、北朝鮮との持続的な対話を確立するための韓国、米国及び中国による取組を歓迎。2019年6月30日に朝鮮半島の非武装地帯において行われたドナルド・トランプ米国大統領と金正恩朝鮮民主主義人民共和国国務委員長との面会を歓迎。全ての当事者に対し、平和的な対話を継続又は再開するとともに、板門店宣言文、米国と北朝鮮の首脳による共同声明及び平壤共同宣言の完全かつ迅速な実施を通じたものを含め、非核化された朝鮮半島の恒久的な平和、安全及び安定の実現に関する前進に向けて協働することを求めた。全ての国連加盟国による、全ての関連する国連安保理決議の完全な履行へのコミットメントを改めて表明し、朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組に留

意。複数の閣僚が、拉致問題の解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を強調。

その他の事項

●2019年11月4日にタイで開催される第22回APT首脳会議の準備について議論。また、同首脳会議における、連結性の連結イニシアティブに関するAPT首脳声明の採択及びAPTウェブサイトの上げに対する支持を改めて表明。

●2020年のベトナムにおける第21回APT外相会議の招集への期待を表明。

(了)